

情報共有

(3夜 非管理メモ)

東京電力株式会社

各位 NISA班へ プレス対応中心

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。  
(8/30 9時～ レク)

以下、転送

=====  
8/30 (火) 9時定例レク概要

【説明内容】

①福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ  
(8月30日 6:00現在) 【口頭説明】

②本日の作業予定等について 【口頭説明】

- 循環注水冷却について
- 淡水化装置全体の停止予定について
  - ・制御ロジック改良のソフトウェア改造作業を  
本日AM中に実施

<各建屋等の水位>

- 1～4号機T/B地下階の水位について
- 1～3号機トレンチ立坑の水位について
- 1号機R/B地下階の水位について
- プロセス主建屋の水位について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
- サイトパンカ建屋の水位について

<1号機>

- 建屋カバー設置工事について

<2号機>

- 雑固体廃棄物減容処理建屋への滞留水の移送について
  - ・本日、ポンプ容量を増やしプロセス主建屋へ移送先を変更予定

<3号機>

- プロセス主建屋への滞留水の移送について
  - ・本日、ポンプ1台で、雑固体廃棄物減容処理建屋へ移送先を変更予定
- R/B上部のガレキ撤去準備工事について
  - ・防油堤内の調査等を継続実施予定

<4号機>

- R/B上部のガレキ撤去準備工事について

<水処理関係>

- キュリオンのベッセル交換について
  - ・本日、フラッシング無しにてベッセル3基交換予定

<その他>

- スラッジ貯蔵施設設置工事について
- リモートコントロール重機によるがれき撤去について
- 港湾関連施設改修工事について
- 大型タンク設置作業について
- 2F4uの原子炉水位について (昨日の補足説明)

【質疑】

Q. 淡水化装置について、停止は自動ではなく計画的な停止か？

A. その通り。

Q. B線被爆者のその後の状況は？

A. 現在確認中。

Q. RO装置の1Bについての交換作業は進んでいるのか？

A. B線被ばくに対する対応を検討し、対策を取った上で作業を行う予定。

以上

=====  
各位

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。  
(8/30 11時30分～ レク)

以下、転送

=====  
8/30(火) 11時30分臨時レク概要

【説明内容】

- ①「平成23年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応について(追加指示)」に基づく報告について 【資料配付】
- ②福島第一原子力発電所における核種分析結果の確報版の一部訂正について【資料配付】
- ③福島第二原子力発電所 4号機原子炉格納容器 入域風景【資料配付】
- ④その他の作業状況等について【口頭説明】
  - ・RO(逆浸透膜)の停止時間について
  - ・2、3号機滞留水の移送について
  - ・原子炉注水システムへのミニフローライン追設について
- ⑤RO(1A)フィルター交換に伴うβ線被ばくについて【口頭説明】
- ⑥協力企業作業員の急性白血病による死亡について【口頭説明】

【主な質疑】

- Q. 白血病で亡くなった方はいつからいつまでどんな作業をし、いつ発症したのか。  
A. 確認できていない。
- Q. 情報はいつ入ったのか。  
A. 8月16日に元請企業から情報を受けた。
- Q. なくなった日はいつなのか。  
A. プライベートな話についてはお話しできない。
- Q. 発電所作業とは因果関係がないとの根拠は。  
A. そう医師からの説明を受けたと元請企業から話があった。また、例えば被ばく線量など労災認定の基準に当てはまらないことなどがある。
- Q. 今回は7日間の作業だが、もっと以前に作業従事があったとすれば因果関係があるかもしれないと考えられるが。  
A. 確認する。
- Q. 医師は一人による判断か。  
A. 詳細は把握できていない。
- Q. (8/16から)半月も発表しなかったのはなぜか。  
A. ご遺族の心情に配慮させていただいたことと、情報確認をしていたため。
- Q. ご遺族に発表する許可をもらったのはいつなのか。  
A. 明確には把握していない。

- Q. 亡くなった方について、プライバシーを侵害するつもりはないが、東電の労務管理部分の話で、勤務期間、作業内容などは示すべき。必ず話してもらいたい。
- A. 検討、確認させていただきたい。
- Q. フィルター交換に伴うβ線被ばくに関してだが、βとγ線に差があるのはなぜか。
- A. βのみを出すものを今後確認する。例えばストロンチウム等が考えられるが分析結果が出ないとなんとも言えない。
- Q. Cさんの被ばくが少ないのは。
- A. 作業内容の違いとカッパの着用の有無などが考えられるが、現在確認中。
- Q. β線の計画線量を設定する考えはあるか。
- A. βのみを単独で設定することは現実的ではないが、今後検討する。

以上

15

各位

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。  
 (8/30 15時～ 「本補償」レク)

以下、転送

=====

日時：8月30日(火) 15:00～15:46

場所：自治会館3階303会議室

会見者：副社長、福島地域支援室長、

福島原子力補償相談室副室長、福島補償相談センター所長

司会者：福島地域支援室広報

- 副社長からの挨拶および概要の説明に引き続き、副室長から「参考1」  
 および「参考2」について詳細説明。  
 ○その後、質疑応答。内容は以下の通り。

## 【質疑】

- Q. 自主避難についての取扱いは、どう考えているのか？  
 A. まだ指針は示されていない。今後、紛争審査会の審議に基づき、対応していく所存。
- Q. 避難所や仮設住宅ではなく、知人宅へ避難したケースは、どのようになるのか？  
 A. 仮設住宅への避難と同様、10万円のお支払いとなる。
- Q. 支払いの対象人数は、どのくらいか？  
 A. 県内では約16万件程度。県外も含めると、40万～50万件と想定している。
- Q. 支払いは、一括で行うのか？分割で行うのか？  
 A. 合意を取れたものについては、一括でお支払いしていく。
- Q. 法人や個人事業主への補償は、いつまでに決定するのか？  
 A. 多種多様な事業に対応した書式の用紙準備等を行い、9月中にお知らせしたい。
- Q. 副社長に伺いたい。先日、首相が来県した際、「中間貯蔵施設」について言及していた。その場合、1F敷地になることが考えられるが、東電としての見解を聞かせてほしい。  
 A. 大変悩ましい問題。必要に応じて、国と相談しながら対応したい。現時点では、これ以上のことは申し上げられない。
- Q. 8月末までに確定する請求額と、その対象件数はどのくらいになるのか？  
 A. 金額については、精査をしているところ。現時点ではお答えできない。対象は、(個人は)県内で16万人。農林業者等を含めた総数は、把握できていない。
- SQ. アバウトな金額(何億以上になりそう等)も、わからないのか？  
 SA. 申し訳ないが、今、手許になくわからない。
- Q. 先ほどの「40万～50万」は、何を含めた数字なのか再度伺いたい。  
 A. 農林業者や県外を含めると、40万～50万件になると申し上げた。
- Q. 「16万」というのは、法人が含まれているのか？  
 A. 個人のみ。
- Q. 農林水産業者への補償スケジュールは？  
 A. 先ほども類似質問でお答えしたが、対象が多種多様に至るため、用紙の書式を含めて整備を

16

しているところ。9月中にお知らせ（発送）を行い、10月の早い段階でお支払いできるように、鋭意努めたい。

Q. 法人への仮払いについて、対象件数と金額はどのくらいか？

A. 中小企業への仮払いは、約6,700件程度。ご請求いただいている額は、約78億円と  
なっている。

Q. 3ヶ月スパンで補償していくことを、6,500人体制で処理していけるのか？

A. 機械化等も進めており、可能だと考えている。実施していく中で、必要があれば増員をしていく  
こと等を考えたい。

Q. 今まで受け付けている請求は、リセットされてしまうのか？

A. 個人については、9/11まで仮払補償金として受け付け、その後は本補償で対応  
させていただく  
ことになる。  
9/11までに仮払いをした個人の方についても、仮払いを充当した残りの本補償  
をお支払いする  
ため、（本補償の）申請をいただくことになる。

Q. 県内の個人への仮払い済の件数・金額は、どのくらいか？

A. 1回目の世帯毎の仮払いは、約56,000世帯・約520億円。  
2回目の追加仮払いは、約116,000人・約318億円。

SQ. そのうち、両方とも受け取っている方は、どのくらいいるのか？

SA. ほとんどの方から、両方ともご請求いただき、お支払いしている。

Q. 避難を何カ所も転々としている場合は、その都度お支払いするのか？

A. 移動することにお支払いする。

Q. 交通費は、申告すればいいのか？

A. （同一県内の場合）5,000円を超えない場合は、申告いただければ良い。

Q. 本補償額が仮払額よりも少ない場合、返金しなければならないのか？

A. 次回以降で精算することになる。

Q. 再就職等で就労可能になると、請求できなくなるということか？

A. 前職との給与差分を充填する補償を行う。

Q. 副社長に伺いたい。避難所をまわって「生の声」を数々聞いたことと思う。今回の本補償について、

満足してもらえると考えているか？

A. 法律の専門家と相談しながら作り上げたもの。現時点において（基準は）妥当なものであると  
考えている。

Q. 就労不能等に伴う損害で、書類提出がない場合、月に3万～15万円の基準賃金に基づき算定し

支払うとある。金額が低いという印象を受けるのだが・・・。

A. この期間でいったん（基準賃金をもとに）お支払いするが、後日、不足分がある場合は差額に  
ついて補償をしていく。

Q. 一度の避難移動でも、何往復もした場合はどうなるのか？

A. 1往復分だけをお支払いしたいと考えている。

Q. 本補償については、今後、どのように広報していくのか？

A. メディアのみなさまへの公表したものを報道していただくほか、自治体と調整し、

17

説明会の実施等  
を予定していく。

Q. 営業損害の追加的費用については、工場移転など金額が大きいケースも出てくると考えられるが、  
(建設費用等) どこまで補償するのか？

A. おっしゃったケースなどについては、各企業と個別にお話させていただくことになる。

SQ. 金額が大きいので、明確にすべき。モデルケースを示してほしい。

SA. ご意見として承る。法人等への補償をお知らせする際に、お示しできるようにしたい。

以上

各位

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。  
(8/30 18時～レク)

東京電力株式会社

以下、転送

=====  
8/30(火)15時定例レク概要  
(本日は、本補償プレスの関係で18時開始)

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ  
(8月30日 午前10時現在)
- ②福島第一原子力発電所 サンプルング関係 【全て資料配付】
  - ・福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第百五十八報)
  - ・福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の核種分析の結果について(第百六十報)
  - ・茨城県沖における海水中の放射性物質の核種分析の結果について(続報26)
  - ・福島第一原子力発電所取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について(8月29日採取分)
  - ・福島第一原子力発電所タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について(8月29日採取分)
  - ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果
- ③福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ【口頭説明】  
(8月30日 12:00)
- ④本日の作業状況等について【口頭説明】
  - 核種分析結果確報盤の訂正に関するNISAからの口答指示について
    - ・スタンスQAに基づき説明
  - 協力企業作業員の急性白血病による死亡について
    - ・作業期間、原子力発電所への従事状況、作業との因果関係がない事等について、QAに基づき説明
  - 本補償プレス訂正箇所について
  - β線被ばくに関する作業員の装備、作業内容等について

【主な質疑】

Q. β線被ばくについて、タンクの水に手を入れて作業を実施したのは作業員Cのみという認識でよいか？  
A. その様に考えている。

Q. フィルターが線源という認識でよいか？  
A. 作業員3人の作業内容や被ばく量の差等を考慮すると、その様に考えられる。

SQ. なぜ線源は水ではなくフィルターなのか？

SA. 水の中のもの(放射性物質)がフィルターに詰まり、圧縮等によって、線量が高くなったのではないかとと思われる。

Q. 白血病に関して、専門医とは、当該作業員のかかりつけの医師なのか？

A. そうではないと思う。

以上

各位

東京電力株式会社

福島での本日のマスコミ対応について情報共有いたします。  
(8/30 19時30分～レク)

以下、転送

=====  
8/30(火) 19時30分定例レク概要

【説明内容】

- ①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ  
(8月30日 午後3時現在) 【資料配付】
- ②福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ  
(8月30日 午後3時現在) 【資料配付】
  - 高圧炉心スプレイ系 系統構成図について
  - 外部電源4系統中1系統停止について
- ③福島第一 1号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 【資料配付】
- ④福島第一 2号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 【資料配付】
- ⑤福島第二原子力発電所4号機線量当量率の測定結果について 【資料配付】
- ⑥福島第二原子力発電所4号機 原子炉格納容器内 溜まり水 【資料配付】
- ⑦本日の作業状況、明日の作業予定等について 【口頭説明】
  - 循環注水冷却について
    - <各建屋等の水位>
      - 1～4号機T/B地下階の水位について
      - 1～3号機トレンチ立坑の水位について
      - 1号機R/B地下階の水位について
      - プロセス主建屋の水位について
      - 雑固体廃棄物減容処理建屋の水位について
      - サイトバンカ建屋の水位について
    - <1号機>
      - 建屋カバー設置工事について
    - <3号機>
      - プロセス主建屋への滞留水の移送について
      - R/B上部のガレキ撤去準備工事について  
・防油堤内の調査等を継続して実施
    - <4号機>
      - R/B上部のガレキ撤去準備工事について
    - <水処理関係>
      - 淡水化装置(蒸発濃縮、逆浸透膜)について
      - キュリオンのベッセル交換について
    - <その他>
      - スラッジ貯蔵施設設置工事について
      - リモートコントロール重機によるがれき撤去について
      - 港湾関連施設改修工事について
      - 大型タンク設置作業について
      - 台風に備えた準備について

●以下は、レク時に配布せず“投げ込み”のみ実施

・福島第一原子力発電所の状況

【主な質疑】

Q. 今回の原子炉建屋上空のサンプリングで何が言えるのか。

A. 今回の1回では具体的な話はできない。何回か採取した結果で見えてくることになる。

Q. サンプリングはどれくらいのスパンで行うのか。

A. 月に1, 2度かと思うが他の作業との調整が必要。

Q. 2Fの2号機ポンプの絶縁抵抗不良は、部品を取り替えるのか。

A. モーターを持ち出し修理が必要か確認している。

以上